

# なす社協だより



昨年度の台風19号の被害の様子です。増加傾向にある自然災害、被害が拡大しないように、今できることがあります。みなさんで備えましょう。

▶ 詳細はP3をご覧ください。



**那須町社会福祉協議会はこのようなことをしています。**

- 地域福祉の推進
- 介護保険（ケアマネジャー・ホームヘルプ）
- 障がい福祉（ホームヘルプ）
- 障害児者計画相談支援（利用計画作成など）
- 地域包括支援センター（高齢者総合相談など）
- ボランティアセンター
- 障害者地域活動支援センターりんどう作業所

# 地区社協ニュース

## 伊王野地区社協

伊王野地区では毎月1回程度ふれあいルームを開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年3月から活動を中止していました。

まだまだ気を緩められない情勢ですが、感染症対策を十分に行い7月13日(月)に伊王野基幹集落センターにて再開することができました。

町保健師による感染症対策の講話を聞き、ソーシャルディスタンス(人と人との距離間隔を2m離す)と手洗い・うがいの重要性を再確認しました。



▲ソーシャルディスタンスの範囲説明



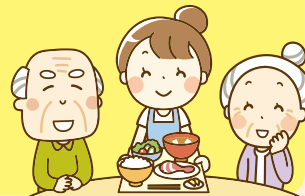
▲手洗いチェッカー:手洗い後、特殊ライトを使用して洗い残しがないかを確認

## 介護のための ワンポイントアドバイス

現在日本では、肺炎を患う70歳以上の方の約80%が誤嚥性肺炎(ごえんせいはいえん)だといわれています。年を重ねるごとに咀嚼力(そしゃくりょく)や嚥下力(えんげりょく)は低下していきませんが、良く噛むことは健康につながります。自分の力でしっかりと噛んで、飲み込む食事ができるよう調理を工夫してみましょう。

食材は口に入れやすい大きさに切る。すべてを細かく刻むとバラつきがでてしまうので、まとまりやすくするために大きさは不揃いに。

隠し包丁を入れ、食べやすくする。



蒸す、煮るなど食材に水分を含める調理方法で噛みやすく、潰しやすい柔らかさに仕上げる。

片栗粉やくず粉でとろみをつける。



芋やひき肉などのぼろぼろしたものは油脂やケチャップ等の調味料を活用してまとまりやすく。



パンやクッキーなどのパサつくもの、乾燥したものは水分と一緒に摂取する。

家族と同じ食事に少しのアレンジを加えるところから始めて、習慣化を目指しましょう。





# 近年自然災害は増加傾向にあり!!

毎年自然災害が多発し、各家庭で災害に備えるよう全国で呼びかけています。

それに加えて現在、新型コロナウイルス感染症が拡大しています。感染症予防を視野に入れた備蓄品や避難所生活について考え、備えましょう。

## 備蓄品

水、食料等の普段の備蓄品に加えて、マスクや消毒液、体温計を持参することが望めます。

### マスク

マスクは複数枚準備することが望ましい。  
無い場合は、鼻と口を同時に覆える大きさのタオルや手ぬぐいも可。

### 消毒液

消毒液がない場合はウエットティッシュも可。

### 体温計

体温はこまめに測り、体調の変化にすぐに気づけるようにする。

・備蓄品が不足する避難所も考えられるので、なるべく各自で準備をしておきましょう。

## 避難

### 「分散避難」

これまでのように避難所へ密集してしまうと感染症のリスクが高まることから、分散避難がすすめられています。

### 在宅避難

頑丈な建物や高台にある建物であれば、自宅にとどまり避難生活をする。

### 親戚や知人

安全な場所に住んでいる親戚や知人がいれば、そこへ避難する。  
事前に連絡を取り確認をする。

### 車中泊

川や山の斜面付近など、危険な場所でなければ車中泊も考えられる。  
この場合は定期的な換気や体を動かすことを心がける。

・不安を感じたら、ためらわずに避難所へ移動しましょう。  
・避難する際、隣近所にも声をかけ合いましょう。

## 避難所生活

避難所では、「密閉・密室・密接」の3密を避けましょう。

- できるだけ換気を心がける。
- 周囲の人と2メートルほどの距離をとる。
- 対面を避けるよう背を向けて座る。
- 長時間の会話は避ける。
- 飲食の前、トイレの後などは手指消毒をする。



## 各地区社協で「見守り活動」を推進しています!

「安心して」「健康で」「安全に」暮らし続けることができるよう、地域の見守り活動をおこなっています。

災害時にも活かせるよう、普段の生活をとおして地域での助け合い、支え合いにご協力をお願いいたします。

10/1から  
始まります

12月31日まで

# 赤い羽根共同募金

今年度 目標額

皆様からの寄付金は、一度県の共同募金会に全額送金され、翌年度町社会福祉協議会や県内の施設等に配分されます。

# 4,407,000円



皆様からのあたたかいお気持ちは、地域の福祉充実のため次のようなことに使われています。

## 町内の福祉のために

### 福祉の応援

- 地区社会福祉協議会活動の強化・支援
- 生活困窮者の支援
- 罹災者給付事業
- 母子寡婦福祉会の育成・支援



母子寡婦福祉会

### 高齢者福祉

- 敬老会開催
- シニアクラブ活動の支援
- シルバー大学校同窓会活動の支援
- ふれあいルーム開催の支援



シニアクラブ連合会

### 障がい者福祉

- 身体障害者福祉会の育成・支援
- 障害児者親の会の育成・支援



障害児者親の会

### その他

- 災害用備品の整備

# 募金の方法

## 戸別募金

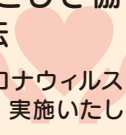
各家庭を訪問し、募金をお願いする方法



## 法人募金

法人（企業）に社会貢献活動の一環として協力いただく方法

※今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施いたしません。



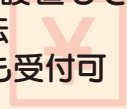
## 学校募金

学校、保育園、幼稚園を通じて募金をお願いする方法



## 窓口募金

公共施設や商店等の窓口に募金箱を設置して  
お願いする方法  
社協の窓口でも受付可



## 職場募金

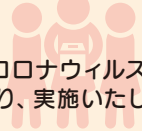
職場で募金をお願いする方法



## 街頭募金

街頭に立ち募金を呼びかける方法

※今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施いたしません。



## お知らせ

赤い羽根の生産不足のため昨年同様、各戸配布用として、赤い羽根ステッカーを配布することになりました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

## 県内民間福祉施設・団体のために

老人福祉施設、児童福祉施設、障害者福祉施設等の整備、備品・自動車の購入、団体の事業などのために使われています。

また、県域を越える災害等の準備金としても役立っています。



## 歳末たすけあい募金にもご協力を!!

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが安心して暮らすことができるよう、各種の援護事業を実施するため、共同募金運動の一環として募金活動を行うものです。



# 手話コーナー

詳しくは、  
ボランティアセンター係まで



## ① 秋・涼しい



指を広げた両手を顔に向け、指を倒しておおぐ動作を繰り返す。

## ② 風



指を広げた両手を右上から左下へ素早くおろす。

## ③ 柿



柿を持っているイメージ

丸めた右手を口に向け手首を軸に下に下げる

## ④ きのこと



右手の人差し指を立てて、その上に軽く丸みをつけた左手をかぶせる。



## ご寄付ありがとうございました



善意銀行

6月

善意銀行

7月

善意銀行

8月

遠藤和男様
草野勇三様
大森兼義様
楠木信幸様

遠藤和男様
草野勇三様
大森兼義様
旧伊王野地区青年団様

遠藤和男様
草野勇三様
大森兼義様
齊藤健様

## 相談コーナー

### [ 心配ごと相談 ]

日常生活の心配ごとや悩みごとなどの相談に応じます。  
予約の必要はありませんので、相談日にお越しください。



### 開設日

10月21日,11月20日,12月21日

### 開設時間

午前10時~午後3時

### 開設場所

ゆめプラザ・那須

### 対応者

民生委員・児童委員3名

### 問合せ

那須町社会福祉協議会

☎72-5133





令和2年度 「心に響くボランティア講座」

地域生活支援ボランティア養成講座のお知らせ

ひとり暮らし高齢者や生活困窮者の増加に伴い、ちょっとした困りごとがある方を手助けしてくれる方(地域生活支援ボランティア)の必要性が高まっています。

那須町においても、地域における住民主体による支え合い、助け合い活動を活発にしていくためにも、活動の中心となるキーパーソンや担い手となる地域生活支援ボランティアを養成することを目的に開催します。

- 場所** ゆめプラザ・那須 会議室
- 定員** 40名(定員になり次第締め切り)
- 時間** 各回13時30分～15時30分
- 参加費** 無料
- 講師** 国際医療福祉大学 准教授 大石 剛史氏
- 申込・締切** 10月20日(火)までに電話または窓口でお申込み下さい。ボランティアセンター係 TEL 72-5133
- 対象者** 地区社協関係者、地域の支え合い・助け合い活動に興味、関心のある方(全日程に参加できる方)

講座内容	回	日時	内容
	1	11月 2日 (月)	○「生活支援ボランティアが求められる背景について」 日本の高齢化の現状について学ぼう ○なすあつた会による寸劇 「こんな地域は嫌だ! / こんな地域に住みたい!」
	2	11月 9日 (月)	○助け合いゲーム体験 など
	3	11月16日 (月)	○地域で行う生活支援ボランティア活動のポイントとは? ○生活支援ボランティア活動立ち上げの模擬体験

※新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となる場合があります。



ペットボトルキャップ回収事業終了のお知らせ

この度、リサイクル業者が回収事業から撤退するため、8月末日をもちましてペットボトルキャップの回収を終了いたしました。長い間ご協力いただきましてありがとうございました。

なお、今後ペットボトルキャップは「容器包装プラスチック」(廃プラ)に出してください。今後とも、当センター事業へのご協力を併せてお願いいたします。

本会ではミニフードバンク事業を行っております



この事業ではご寄付いただいた食料を緊急的かつ一時的に食糧難に陥り、生命や身体の安全が確保できなくなってしまった方へ提供しています。

ご家庭に余っている食料がありましたら、ご協力をお願いいたします。



開封済みのもの

賞味期限が二か月以内のもの

生物(野菜等)

は、お受けできません

在庫状況確認のため 事前にお問い合わせください。

地域福祉係

TEL 0287-72-5133

## りんどう作業所通信

### ■ 問合せ

りんどう作業所

住所/那須町大字寺子丙4-70 ゆうゆうセンター内

電話/0287-72-0362

### まんまるカフェの営業について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため以下のとおり営業時間・提供内容を変更しておりますのでよろしくお願いいたします。

#### ■ 営業時間

午前11時45分から午後1時15分まで

#### ■ 提供内容

下記メニューのテイクアウトのみの対応とさせていただきます。パスタなどの食事メニューは休止中です。

ホットコーヒー/アイスコーヒー/アイスウーロン茶

各通常サイズ: 150円 各大きいサイズ: 200円



### アルミ缶リサイクル事業について

不要となったアルミ缶を集めています。

集められたアルミ缶は、小さく潰しリサイクル業者に引き取っていただいています。

#### 【 缶置き場 】

①りんどう作業所隣の倉庫

②ゆめプラザに入りすぐ左手の社会福祉協議会窓口近くにも回収ボックスを新たに設置しましたのでご協力お願いいたします。

※量が多い場合には直接りんどう作業所倉庫へお持ちください。



### 花苗販売情報

マリーゴールド、日々草が完売いたしました。購入いただいたお客様からご好評をいただき、所員の今後の励みになっています。ご協力ありがとうございました。

現在はさくら草、ピオラの準備をしております。販売時期はピオラは11月中旬頃、さくら草は12月上旬頃を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。



11月中旬頃から

ピオラ1苗 60円



12月上旬頃から

さくら草1苗 300円

町社会福祉協議会では、会員を募集しております。

那須町の地域福祉活動拡充にご理解とご協力をお願いいたします。



普通会員(個人・世帯)

年会費

500円

特別会員(施設・事業所等)

年会費

一口3000円

詳しくはお問い合わせください

Tel.0287-72-5133まで